

科目名		授業形態	担当教員名	
臨床生理学概論		講義	白川 卓・三好 真琴	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 2 単位）		15 回	2 年次	後期
授業の目的・概要				
疾患を客観的に評価する手段として臨床検査データは重要な役割を果たします。現代の医療は臨床検査のデータがなければ成り立たないといっても過言ではありません。本講義では多くの臨床検査の中から日常的に実施される検査項目を中心に解説し、将来医療機関で活躍するときに役立つ内容となっています。さらに毎回データ解読テストを実施することで検査データの解釈が可能となるよう構成しています。				
授業の到達目標				
基本的な臨床検査のデータを判読し、患者の状態を客観的に把握できるようになる。				
授業計画				
回	内容			
1	臨床検査の概要と臨床検査データの読み方の基本			
2	一般検査（尿・糞便などを用いた検査）			
3	血液検査-1（血球数算定、貧血検査）		（データ解読テスト1）	白川担当
4	血液検査-2（白血球の検査、血液凝固検査）			白川担当
5	臨床化学検査-1（血清タンパク、腎機能検査）		（データ解読テスト2）	白川担当
6	臨床化学検査-2（血清酵素検査、心筋マーカー、肝機能検査）			白川担当
7	臨床化学検査-3（糖代謝検査、脂質代謝検査、電解質検査）		（データ解読テスト3）	白川担当
8	免疫学的検査-1（腫瘍マーカー、ホルモン、炎症マーカー検査）			白川担当
9	免疫学的検査-2（肝炎ウイルス検査、HIV検査、輸血検査）		（データ解読テスト4）	白川担当
10	微生物検査（院内感染、スタンダードプリコーション、遺伝子検査）			白川担当
11	循環器系の検査			三好担当
12	呼吸器系の検査			三好担当
13	神経・筋機能検査			三好担当
14	感覚機能検査			三好担当
15	画像診断検査			三好担当
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	60%	検査データの基本的な見方・考え方について理解できているかを評価します。（白川25点、三好35点）		
レポート・課題				
小テスト	40%	前週までに学習した検査データの読み方について毎回小テストを行います。（白川40点）		
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
看護に活かす検査値の読み方・考え方 [ハンディ版] 第3版	村田満・西崎統 編		総合医学社	
自由記載	教科書と講義資料を用いて講義します（白川）。講義資料を用いて講義します（三好）。			
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
なし				
自由記載				
備考				